

令和7年度第1回 運営推進会議議事録
(看護小規模多機能介護・認知症対応型共同生活介護 合同開催)

事業所名（種別）	「ずいうんホームねりま」（種別：看護小規模多機能型居宅介護）		
所在地	練馬区高松 3-10-8		
開催日時	令和 7年 5月 20日 火曜日 15:00 ~ 16:00		
開催場所	「ずいうんホームねりま」2階フロア		
出席者内訳	利用者	1名	A様（認知症対応型共同生活介護）
	利用者家族	1名	S様奥様（看護小規模多機能型居宅介護）
	民生委員・町会役員・地域代表	2名	辻様・小沢様（地域代表）
	知見者	0名	
	練馬区・地域包括支援センター職員	1名	池上様（練馬高松園地域包括支援センター・生活コーディネーター）
	事業所職員	10名	久保田（管理者） 山下（認知症対応型共同生活介護・看護師） 田中（認知症対応型共同生活介護・介護士） テリ（看護小規模多機能型居宅介護・介護士） 土谷（認知症対応型共同生活介護・看護小規模多機能型居宅介護・介護支援専門員）
	その他	1名	寺内様（高松小学校ねりっこクラブ代表）
議題 ※別紙での説明がある場合は、「別紙のとおり。」と記載することで省略可能。	1, はじめに (1) 運営推進会議の意義 (2) 構成員の紹介 2, 運営推進会議年間計画 3, 利用者の構成（年齢、要介護度等） 4, 活動内容 5, 事故報告（発生状況、再発防止策等） (1) 認知症対応型共同生活介護（グループホーム） ア、内出血 (2) 看護小規模多機能介護 ア、車いすからの転落 6, 地域連携の取り組み (1) 「高松にこにこ会」の参画 (2) 「地域ケアセンター会議」等への参加 (3) 「小規模・グループホーム運営状況懇談会」への参加 (4) 「高松小学校ねりっこクラブ」との交流 7, 意見交換 8, アンケートのお願い		
報告内容 ※別紙での説明がある場合は、「別紙のとおり。」と記載することで省略可能。	○運営推進会議 ・練馬区介護保険課事業者運営推進係（小山氏・岡田氏）より照会 ・構成員の紹介。久保田より「今年度は、二期目になる。新年度を迎え、これからが正念場と考えている。皆様に支えられながらやっている。引き続きご助力を賜りたい。」 ○運営推進会議年間計画 ・①5月20日(火)、②7月11日(金)、③9月11日(木)、④11月14日(金)、⑤1月19日(月)、⑥3月13日(金)。2回に1回は合同開催を予定している。 ○利用者の構成（年齢、要介護度等）		

	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護 5 : 5 名・要介護 4 : 6 名 (入院 2 名)・要介護 3 : 0 名 ・要介護 2 : 1 名・要介護 1 : 3 名・ (合計 15 名) ・最高齢 : 93 歳・最年少 : 65 歳・男女比 : 8 : 7 <p>○活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的な介護のほか、昼、夕と 2 回ラジオ体操を行っている。 ・季節に合わせたモノづくりを行っている。利用者と職員が一緒に話をしながら作成している。 ・職員が作成した「ダンボール・パズル」を実施している。利用者にはとても好評である。 ・「おやつレク」として、どらやき (3 月 29 日)、たこ焼き (5 月 9 日) を作成した。利用者と職員がホットプレートで談笑をしながら作り、一緒に食べた。笑顔が見られた。 ・「ずいうん喫茶ねりま」と称して、コーヒーを淹れる資格を持つボランティアにお越しいただき、利用者、近隣住民、職員にコーヒーをふるまった。第 3 回 (4 月 16 日)、第 4 回 (5 月 19 日)。利用者がコーヒー豆を挽く等の協力もしてもらった。 <p>○事故報告 (発生状況、再発防止策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車いすからの転落があった (発生日 3 月 30 日)。夜勤職員が他利用者の就寝介助を終えてフロアに戻ると、車いすごと利用者が右側に転倒をする。再発防止策としては、就寝介助の順番を再検討する。 <p>○地域連携の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高松にこにこ会」を参画している。4 月 17 日 (木) は「光が丘公園 春のお散歩会」を行った。明日の 5 月 21 日 (水) は「高松小学校の子どもたちに会いに行こう！」を行う。司会進行等は「ずいうんホームねりま」の職員が行う予定である。 ・「地域ケアセンター会議」に参加している。4 月 18 日 (金) は「特殊詐欺・悪質商法から高齢者を守ろう」(練馬高松園地域包括支援センター)であった。利用者への声掛けの機会にしていく。 ・「小規模・グループホーム運営状況懇談会」に参加をしている。防災対策について検討をしている。 ・「高松小学校ねりっこクラブ」との交流は続けていく。
出席者からの評価	<p>(S 様奥様)「定期的に来所している。職員が声を掛けてくれる。」</p> <p>(小沢様)「地域に根差していると思う。」</p> <p>(池上様)「細かいニーズに応えようとしている。向き合ってくれている。」</p> <p>(寺内様)「こうして学童クラブと連携を取れて嬉しい。」</p>
要望、意見および助言と事業所の回答	<p>← (久保田)「今後も、面会は自由にしていく。」</p> <p>数時間でも家に帰れる機会を設けている。夜に泊り、昼間に帰ることもできる。夜間は看護師がおり、定期的に吸引ができる。」</p> <p>(辻様)「橋幸男アルツハイマー型認知症で同じことを言っている。同世代が病気になっている。不安があるから、相談に乗って欲しい」</p> <p>← (久保田)「近隣の方にも相談窓口になれたらと思う。」</p> <p>(池上様)「高齢者の被害件数が増えている。特殊詐欺なども気を付けて欲しい。」</p> <p>← (土谷)「看多機は、自宅にも訪問をする。その機会に利用者(家族)が被害に合わないよう声掛けをしていく。」</p> <p>(寺内様)「見守り 110 番などもしてもらえたらと思う。」</p> <p>← (久保田)「『こども 110 番』の登録をする。」</p> <p>(寺内様)「児童と高齢者の関りがより強くなれたらと思う。」</p> <p>← (久保田)「ACP など一緒にやっていたらと思う。」</p>
その他	なし
次回の開催予定	<p>日時 : 令和 7 年 7 月 11 日 金曜日 15 : 00 ~ 15 : 30</p> <p>場所 : 「ずいうんホームねりま」</p>

